

共同獣医学部学術セミナー

演題： 哺乳類細胞における多倍体化の影響について
～倍数性から解き明かす哺乳類細胞の新たな姿～

講師： 今井 啓之（九州大学大学院基礎医学部門 助教）

開催日時： 2020年2月17日（月） 16:00 - 17:00

場所： iCOVER棟 101室

講演要旨：

哺乳類を含めた脊椎動物は進化の過程で少なくとも2回の全ゲノムの倍数化を経験したとされる。魚類や両生類では多倍体個体が存在する一方で、現存する哺乳類では多倍体個体は存在しない。哺乳類における多倍体細胞は、胎盤や腫瘍といった特殊な組織において観察されることから、2倍体細胞とは異なる生物学的特性を有することが推察される。多倍体細胞の解析にあたって、生体内で生理的に存在する多倍体細胞はごくわずかであるため、その生物学的特性の解明は困難である。

本セミナーでは、哺乳類における多倍体細胞の*in vitro*実験モデルの構築と、多倍化技術を応用したゲノム初期化法などの研究結果を紹介する。

問合せ先： 日下部 健（内線5882）